

平成 29 年度 川口市行政評価外部評価委員会に対する

ご意見及び回答

〔 回答：企画経営課 〕

1	意見	今年度から評価の仕方が変わり、わかりやすかったが、一方で、時間をかけて行っている割には評価する件数が増えなかったと思う。
	回答	以前は、委員会の開催前に、事前配付された調書や資料を読み込んだ上で質問票を作成し、委員会当日に担当課とのヒアリングを行ったあと、その場で評価を行っていたため、事業の内容がよく理解できないまま評価を行っていたという経緯がありました。 そこで、平成 28 年度から進め方を見直し、1つの事業に対して2日間をかけ、じっくり担当課とのヒアリングを行っていただくことで、事業の理解を深めていただいてから、評価を行っていただく手法に変更しております。 よって、委員会の開催日数や委員の負担を考えますと、事業数は現状のまま進めていくのが妥当と考えております。

2	意見	今回新しい取り組みで、類似事業の統合を検討するというものがあった。コストダウンという観点では、重複した部分の統合を検討することは、とても意義深いと思う。
	回答	他課と同じような事業を実施していることについて、なかなか自分たちでは気づくことができないこともあり、外部評価で指摘や意見をいただくことで、気づきを得ることを期待しております。 事業を俯瞰的に見てみますと、類似事業や重複事業がいくつか見受けられるため、今後においても、外部評価の場で統合の検討を議題とさせていただきたいと考えております。

3	意見	評価する対象事業に関して、行政施策が何百とある中でどの事業を評価するのかという点を、次回さらに充実させてほしい。
	回答	外部評価の対象とする事業に関しましては、今後は、テーマ性をもって抽出を行うことを検討しております。その事業が選ばれた理由については、第 1 回委員会で説明していきたいと考えております。

4	意見	様々な年代の委員があり、様々な角度の意見が出て良かったと思う。
	回答	評価の場では、様々な意見が出てくるような環境づくりが重要と考えております。委員会の開催時期や時間等の制約がある中で、今回、幅広い年代の方に委員として評価していただくことができました。

5	意見	どの事業を評価するのかということも非常に重要なことであり、ある種の経営判断として、意図があって抽出していると思う。以前は、各委員の判定に予断を与えないように、このような意図は伝えて来なかったが、現段階では共有しても良い時期に来ているのではないかと思う。方向性を共有し、部会としての統一見解がはじめにあっても良いのではないかと思う。
	回答	外部評価の対象とする事業に関しましては、今後は、テーマ性をもって抽出を行うことを検討しております。その事業が選ばれた理由については、第1回委員会で説明していきたいと考えております。

6	意見	今年度は傍聴がなかった。世間の関心が失われているように思われるので、市民に対するPRも検討すべきではないかと思う。
	回答	市民の傍聴については、委員会開催のお知らせを広報や市ホームページ等を使って発信しておりますが、来年度の外部評価委員会開催については、その時期を早める等工夫をしていきたいと考えています。